

美術学校跡 アートの扉

左京にシェアアトリエ

京都精華大(左京区)などは、閉校した美術学校を改修し、靴職人や写真家などが一堂に集うシェアアトリエ「the SITE」を左京区田中東春菜町にオープンした。アートに関わる人たちの拠点として人気を集めている。(林華代)

精華大など

靴工房 ■ 写真事務所

同大学が所有し、2009年に閉校した美術学校の校舎を不動産会社「フラットエージェンシー」(北区)が改修した。10月に完成したアトリエは3棟で構成され、2棟に分かれた北棟は東側が2階建て、西側が4階建て(地下1階)で、南棟は2階建て。オリジナルの靴作り教室を行う靴工房や

写真家の事務所などが入居し、今後はアンティーク雑貨店やカフェ、アート教室を開く店舗も出店予定だ。

最も古い北棟東側は1970年に建てられた。美術学校の雰囲気を残すために教室の黒板や暗室跡、大型工具などを残し、コンクリートの壁もむき出しにしてレトロな趣を演出。外観は青、ドアは緑や黄で塗り直し、カラフルな外観にした。

北棟西側は制作活動を行う入居者のため、地下1階に共用のシャワー室や洗濯機、ソファを設置。3階は工作室とし、交流の場としても使えるようにした。4階の有料の展示スペースでは、同大学の学生が11日まで作品展を開催している。

靴工房「かたつむり」の靴職人、宗村史さん(40)は「山も近く、のんびりした住宅街の中にある雰囲気が入居する気に入っている。入居する様々な分野の人と刺激し合えれば」と話した。



①美術学校を改修してオープンしたシェアアトリエ②黒板などを残し、学校の雰囲気を生かした靴工房(いずれも左京区で)

